

愛媛大学公開講座

「防災士養成講座」

令和6年度募集要項

愛媛大学防災情報研究センター

■□ お申し込みの前に、まずご覧ください □■

1 防災士になるまでの流れ



2 防災士資格認証までの費用

No	内 容	金 額
1	愛媛大学公開講座「防災士養成講座」の受講料	10,000 円
2	防災士教本代金	4,000 円
3	「防災士資格取得試験」の受験料	3,000 円
4	「防災士」認証登録料	5,000 円

※上記金額の他に、振込手数料等が別途必要となります。

■□ 愛媛大学公開講座「防災士養成講座」 □■

1 講座の趣旨・目的

地域防災力の向上を図るため、防災に関する正しい知識と技能を持ち、災害時には自助・互助の中心として、地域で活躍できる防災士を養成することを目的としています。

2 講座日程・会場

受講回	講座日程	会場
第1回	7月31日(水)～8月1日(木)	松山市男女共同参画推進センターCOMS (松山市三番町6-4-20)
第2回	8月3日(土)～4日(日)	愛媛大学城北キャンパス(松山市文京町3番)
第3回	9月26日(木)～27日(金)	愛媛大学城北キャンパス(松山市文京町3番)
第4回	9月28日(土)～29日(日)	松山市保健所・消防合同庁舎(松山市萱町6-30-5)

※ 第4回に限り託児サービスあり(P4参照)

3 定員

各回70名程度(先着順で、定員に達し次第、受付を終了します)

4 受講資格

防災士として地域に貢献する意欲があり、確実に受講できる者

5 受講料

10,000円(別途、教本代金4,000円が必要)

※振込手数料は、各自でご負担ください。

※受講料は、原則、返金いたしません。但し、講座を開講できなくなった場合は、受講料を返金いたしますが、返金に係る振込手数料は、受講申込者負担となりますので、予めご了承ください。

※第1回のみ、会場の関係により9:00~9:30受付、以降30分ずつ繰り下げて実施します。

6 カリキュラム

日程	時限	時間	講義内容	講師	
1 日 目	—	8:30~9:00	受付		
	—	9:00~9:15	オリエンテーション		
	1	9:15~10:15	【補講1】 近年の主な自然災害	愛媛大学 名誉教授 矢田部 龍一	
	2	10:25~11:25	【第7講】災害関連情報と予報・警報	松山地方気象台 リスクコミュニケーション推進官 川手 秀樹	
	昼食（防災ビデオ上映）				
	3	12:25~13:25	【第1講】 地震のしくみと被害～地震・津波による災害～	愛媛大学 名誉教授 高橋 治郎	
	4	13:35~14:35	【第3講】土砂災害	愛媛大学 防災情報研究センター センター長 Bhandary Netra Prakash	
	5	14:45~15:45	【第16講】風水害・土砂災害等への備え	愛媛大学 防災情報研究センター 教授 森脇 亮	
	6	15:55~16:55	【第15講】地震・津波への備え	愛媛大学 防災情報研究センター 副センター長 二神 透	
		16:55~17:05	事務連絡		
2 日 目	—	8:30~9:00	受付		
	—	9:00~9:15	オリエンテーション		
	1	9:15~10:15	【第17講】地域の自主防災活動 ～自主防災活動と地区防災計画～	松山市 市民防災安全課 副主幹 宇野 美千代	
	2	10:25~11:25	【第18講】避難所の設置と運営協力	松山市 危機管理課 保健師 山脇 沢奈	
	昼食（防災ビデオ上映）				
	3	12:25~13:25	【第21講】防災士の役割～防災士に期待される活動～	松山市 市民防災安全課 主事 奥宮 啓介	
	4	13:35~14:35	【補講4】緊急救助技術を身につける ～防災士が行う各種訓練～	松山市 市民防災安全課 主査 高谷 鎮晃	
	5	14:45~15:45	【第6講】地域防災計画と防災マップ ～被害想定・ハザードマップ～	松山市 市民防災安全課 主幹 竹場 登	
	6	15:55~16:55	【第9講】松山市の防災体制の概要について ～行政の災害対策と危機管理～	松山市 危機管理課 主幹 二宮 達司	
		17:15~18:15	防災士資格取得試験	日本防災士機構	

※講師等の都合により、講義の時間及び内容を変更する場合があります。

※各回とも講義内容は同じです。

7 受講申込方法

(1) 募集要項及び受講申込書類の請求

①請求期間

令和6年5月8日(水)から5月24日(金)正午まで

②請求方法

本学防災情報研究センターのHP上の「申込フォーム」にてご請求ください。「申込フォーム」が利用できない場合に限り、メール又は電話での受付を行いますので、その際、「住所・氏名・連絡先・受講回(希望)」をお伝えください。後日、下記の受講申込書類等を送付いたします。

[特記事項]

- ▶募集要項及び受講申込書類の請求段階で、仮申込として受講枠を確保いたしますが、受講を希望される方は、必ず、受講申込〔7(2)受講申込を参照〕をしてください。
受講申込が期日までにない場合は、受講できません。
- ▶受講回については、定員の関係上、仮申込後の変更には応じられない場合がございますので、確実に受講できる日をお知らせください。
- ▶定員に達した場合は、請求の受付を終了することがありますので、ご了承ください。
- ▶第4回(9月28日(土)～29日(日))のみ、託児サービス(無料)を設けていますので、ご希望の方は「申込フォーム」の備考欄に託児を希望する旨とお子様のご年齢(月齢まで)をご記入ください。

別室に託児ルームを設置し、講義中は保育士がお子様をお預かりいたします。

※対象年齢：3歳以上の未就学児

※お預かりできるお子様の人数に上限があります。定員に達した場合、お断りする場合があります。

※後日、お子様のことについて聞き取りさせていただく場合があります。

【受講申込書類等】(本学から、以下の書類を送付いたします)

- (ア) 愛媛大学公開講座「防災士養成講座」令和6年度募集要項
- (イ) ★愛媛大学公開講座「防災士養成講座」受講申込票・受講票
- (ウ) 受講料払込用紙
- (エ) ★受講料払込証明書
- (オ) ★宅配便送状(教本等発送用)
- (カ) 返信用封筒

※(エ)は、振替払込受付証明書(大学提出用)を貼付してください。

※★(イ)(エ)(オ)を(カ)返信用封筒に入れて、返送してください。

③請求先等

(ア)「申込フォーム」をご利用の場合（下記URLからアクセス）

<https://cdmir.jp/>

(イ)「メール」又は「電話」をご利用の場合

愛媛大学地域協働課防災情報チーム

メール kensien@stu.ehime-u.ac.jp 電話 089-927-8142

(2) 受講申込

①申込期間

【第1回・第2回（7月・8月）受講者】

令和6年5月27日（月）～令和6年6月7日（金）〔消印有効〕

【第3回・第4回（9月）受講者】

令和6年5月27日（月）～令和6年7月19日（金）〔消印有効〕

②申込方法

必ず、「返信用封筒」に「受講申込書類」を封入し、「簡易書留」にて下記まで、送付してください。

〔送付先〕

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

愛媛大学地域協働課防災情報チーム「防災士養成講座」係

8 防災士教本等の送付

受講申込時の書類を確認した後、下記書類を送付いたします。

〔送付日〕

第1回・第2回（7・8月）受講者：6月中旬より順次発送

第3回・第4回（9月）受講者：8月初旬より順次発送

講座当日に、持参いただく書類がありますので、ご確認ください。

【送付書類等】

- (1) 防災士教本
- (2) ★愛媛大学公開講座「防災士養成講座」履修確認レポート
- (3) ★受講票
- (4) ★〔書式23〕防災士資格取得費用支払い証明用台紙
- (5) ★払込取扱票・振替払込請求書兼受領書（防災士資格取得試験受験料）

※★は、講座初日の受付の際、提出又は提示いただく書類です。

9 当日持参するもの

- (1) 防災士教本
- (2) 愛媛大学公開講座「防災士養成講座」履修確認レポート
※全部及び一部の提出がない場合、履修証明書はお渡しできません。
※各講目、200字以上の記入とし、満たない場合には再提出していただきます。
- (3) 受講票
- (4) [書式 23] 防災士資格取得費用支払い証明用台紙
※加入者名が「日本防災士機構資格試験口座」、金額が¥3,000の「振替払込請求書兼受領書」(写)を貼付してください。
- (5) 筆記用具
※2日目の防災士資格取得試験時に、鉛筆またはシャープペンシル・消しゴムが必要。
- (6) 軍手
※2日目の実技指導(ロープワーク等)の際、安全のため準備いただくと良いかも知れません。

10 注意事項

- (1) 【第1回～3回の会場】
受講者用の駐車場はありませんので、公共交通機関を利用してお越しください。
【第4回の会場】
駐車場の数に限りがありますので、可能な限り、公共交通機関のご利用をお願いします。
- (2) 各講義とも、開始3分前までには、ご着席ください。
- (3) 会場内での写真撮影、VTR等における撮影・録音はできません。
- (4) ゴミは、各自でお持ち帰りください。
- (5) 2日目には実技指導がありますので、動きやすい服装でお越しください。
- (6) 会場の敷地内(建物含む)は「全面禁煙」ですので、ご理解とご協力をお願いします。

11 個人情報の取り扱い

いただいた氏名・住所等の個人情報は、愛媛大学防災情報研究センター・日本防災士機構が各々主催する「防災士養成講座」及び「防災士資格取得試験」に係る提出書類に不備等があった場合や、合格された場合の登録手続等のための連絡用として利用いたします。

他の目的での利用及び本センターの関係教職員以外への情報提供は、一切行いません。

■□ 防災士資格取得試験を受験される方へ □■

- 1 日本防災士機構が実施する「防災士資格取得試験」は、2日目（最終日）に同会場で実施されます。
- 2 試験に際しては、必ず「鉛筆またはシャープペンシルと消しゴム」をご用意ください。
- 3 試験はマークシート方式で、3択式設問により30問出題され、24問（80%）以上の正答で合格となります。
- 4 合否発表の時期・方法は、試験当日、日本防災士機構から発表があります。
- 5 不合格者は、再受験することができます（再受験は無料）。
ただし、試験はいつでもどこでも行われている訳ではありませんので、愛媛大学地域協働課防災情報チームまでご相談ください。

■□ 救急救命講習について □■

防災士の登録には、全国の消防署、日本赤十字社等が実施する「救急救命講習」を受講し、修了証、受講証を取得する必要があります。ただし、修了証は、「防災士認定登録申請時に5年以内に発行されたもので、発行者が定めた有効期限内のもののみを有効」となっています。

受講済みの方は、有効期限をご確認いただき、新たに受講される方は、防災士資格試験の受験前・受験後、いずれでも結構ですが、早めの受講をお願いします。

なお、本講習は、防災士資格取得試験の受験要件ではありません。また、全国の各種団体の発行する「救急救命講習」修了証のうち、日本防災士機構が承認している主な「救急救命講習」は下表のとおりです。実施日については、地元消防署等でご確認をお願いします。

講習実施機関・所管等	講習・資格名	備考
消防本部	普通救命講習ⅠまたはⅡ	「市民救命士」等の名称による同講習も含まれる
	上級救命講習	
	応急手当普及員/指導員講習	
	消防吏員	消防吏員の階級証等の写しの提出が必要 (5年以内及び有効期限内基準の対象外)
	患者等搬送乗務員基礎講習	
都道府県公安委員会	第一種運転免許(応急救護処置講習)	新規取得後5年以内限定(取得後5年を超過したものは対象外)
	第二種運転免許(応急救護処置講習)	
厚生労働省	医師	医師の資格の証書等の写しの提出が必要 (5年以内及び有効期限内基準の対象外)
	救急救命士	救急救命士の資格の証書等の写しの提出が必要 (5年以内及び有効期限内基準の対象外)
	酸素欠乏危険作業主任者技能講習	
	酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者技能講習	
日本赤十字社	救急法基礎講習 (赤十字ベーシックライフサポーター認定証)	
	救急法救急員養成講習	検定合格者に認定証交付
	救急法指導員養成講習	指導員認定証交付
	水上安全法指導員養成講習指導員認定	水上安全法指導員養成講習指導員認定証交付
	幼児安全法指導員養成講習	指導員認定証交付
	救急法短期講習(心肺蘇生、AEDを3時間以上含むもの)	カリキュラムの内容や時間数を確認する資料提出が必要
	J-MELS(母体救命)	

■□ お問い合わせ先 □■

【防災士養成講座に関すること】

➤愛媛大学地域協働課防災情報チーム

〒790-8577

愛媛県松山市文京町3番

URL <https://cdmir.jp/>

電話 089-927-8142 (平日 9:00~17:00)

Mail kensien@stu.ehime-u.ac.jp

【救命救急講習に関すること】

➤日本防災士機構が承認している講習実施機関（居住地・勤務地を管轄する消防署など）に、直接お問い合わせください。